

8月月例「会津駒ヶ岳」山行 報告

朝井紀久子

*日 程：2022年 8月27日(土)

*場 所：福島県 会津駒ヶ岳 2,133m (日本百名山)

*参加者：奥村一江、那須朋美、行方真由美、萩原みか、小玉和孝、

朝井紀久子(SL)、稲越洋一(CL) 計7名

*天 候：晴れのち曇り、気温16度、多湿、風少ない

(眺望：山城や近景は見渡し良好～徐々にガス発生あり。遠景は霞みや雲あり。)

*行 程：(5:30 会津駒ヶ岳登山口バス停前に集合) 5:45 滝沢登山口から登山開始 →

7:20 水場 7:30 → 9:15 駒の小屋 9:30 → 10:00 会津駒ヶ岳山頂 10:15 → 山頂下の花畑を下りながら見て、巻道にて小屋方面へ戻る → 10:45 小屋下分岐のベンチで昼食 11:10 →

12:10 水場 12:30 → 13:45 滝沢登山口 下山 (行程総時間8時間、標高差1,079m)

山深い場所にて、集合場所へは、夜行電車+バス、車中前泊など、各自がそれぞれアプローチしました。前日までの雨天予報で催行状況も心配されましたが、思いがけない朝の青空に、皆の笑顔がこぼれました。

皆が稜線歩きを楽しみに、まず登り始めは樹林帯のやや急登です。最近の雨続きで予想どおりの多湿の中、30分から1時間おきに立ち休憩、途中の水場で座位休憩など体調を調えました。

いよいよ稜線へ出ると、美しい黄緑の山容と、先へ繋がる木道の美しさ。その中を歩きながら、所々に生える高山植物に目をやりました。駒ノ小屋がランドマークとして見え、トイレ休憩も行えました。その後、池塘の横を通りながら山頂を目指します。山頂は広くはないのですが、本来360度の展望で群馬・新潟・福島・栃木の山々が望めるようです。この日は霞みや雲にて遠景の山々は正確には確認しきれませんでした。まず隣の尾瀬にある燧ヶ岳が、山頂二つの嶺の形と共にはっきり目に入りました。山頂先の中門岳方向へ下り、山頂付近の花々をしばらく鑑賞。今年の夏花のピークはお盆前後かとも思われますが、月末もこの時期ならではの風景を味わえました。充分満喫後、午後からの雨予報に備え早めの下山を意識し、ペースを落とす事なく無事下山できました。

山行の様子



▲ブナ樹林帯を登り始める



▲駒ノ小屋から山頂方面



▲木道 (小屋方面から)



▲駒ノ小屋 (山頂方向から)

花々など



▲ハクサンコザクラ



▲アキノキンリンソウ



▲キンコウカ



▲チングルマ



▲ニッコウキスゲ



▲オヤマリンドウ

山行の様子



▲会津駒ヶ岳（山頂）



▲山頂付近の花畑

花々など



▲イワイチョウ



▲オニアザミ



▲ワタスゲと

アキアカネ(雌)



▲ヒヨドリバナと

アサギマダラ

～参加者の感想～

【那須朋美】当日の雨が心配される中での山行でしたが、終わり良ければ総て良しの最高の1日でした。駒ヶ岳登山口からの徒歩30分の車道の道りを短縮できたのも、ゆっくり花々を見ながら散策できたのも前日までの雨予報のお陰だったと思います。

水場までの急登は登山の醍醐味として楽しめ、水場から先の緩やかな登山道を抜けてからの池糖、湿原、山頂と青空のコントラスト、頂上付近から見えた燧ヶ岳と駒の小屋の景色は絶景でした。

【小玉和孝】直前まで雨予報だった為、登山者も少なく大変快適な登山でした。頂上近くの湿原には、夏の花(ニッコウキスゲ)、秋の花(リンドウ)などが混在して季節の変わり目を感じる事が出来ました。リーダーさん、サブリーダーさんの事前の下調べのおかげで、アクセス、登山ペース、小・中休止場所等適切で、大変スムーズな山行でした。お疲れ様でした。今後とも皆さんとの山行に参加したいと思しますので宜しくお願いします。

【行方真由美】朝5時夜が明けた空にはうっすら青空も見えていました。標高差1000メートル、行動時間8時間が始まりました。小雨の中歩くのを覚悟で参加したのですが、雨に降られる事もなく時折青空の覗く、清々しい空気の中歩けました。秋を感じるリンドウも咲いていましたがワタスゲやチングルマ、ニッコウキスゲなども見られ季節の移り変わりを感じました。一部木道は滑りましたが湿原は霧も晴れて燧ヶ岳や日光白根山や稜線も見渡せて気持ち良くそれまでの急登を忘れるほど素敵な景色でした。休憩時には参加されたメンバーとの会話も楽しかったです。山頂を降りた後、駒の小屋付近でのんびり景色とトンボなどを眺める時間は貴重な思い出になりました。稲越さん、朝井さんの下見の目の付け所もバッチリで随所に気配りをして頂きありがとうございました。

【萩原みか】会津駒ヶ岳の山行は近頃の天候不順のため、判断する事柄が多かった。そもそも行き先が上高地の焼岳の噴火警戒レベルが上がって中止になったところから始まる。しかしCL SLの念入りな下見段階からの情報の収集と提供のおかげで判断材料が十分すぎるほどでした。本当に感謝します。予想に反して山行当日は天気恵まれ、また事前情報を満タンにしてあったせいか、いつになく気持ちに余裕が生まれ、山行の歩行スピードに注意を払う事が出来た。スピードのコントロールに関してはCLから細かいレクチャーもあり、疲労の軽減を実感。余裕ができると同行者の皆さんとコミュニケーションをとる事ができ、楽しく、たくさんのお土産を得る機会になりました。

【奥村一江】 今回の山行は思ったより天気が良くて暑かったですが、色々な種類の花や普段は見ない種類のトンボや蝶を見ることができ、登りでは眺めも良くてとても楽しかったです。私以外は山行委員であったため追いついていけるか不安でしたが、何とか下山できてホッとしました。山行後は、ゆっくり温泉に入り、山椒魚の燻製も買えて嬉しかったです。ありがとうございました。

【CL 稲越洋一】 8月山行は当初の焼岳登山が警戒レベルアップのため中止となり、その代替として2020年にコロナの影響で中止となった会津駒ヶ岳が選定されました。盛夏の時期の高山植物も期待したとおり楽しめ、なにより前日までの雨予想が、午前中は青空いっぱいの好天での登山となりました。参加した「晴れ女」(さてどなたでしょうか?)の方々に感謝です。次回も一緒にしたいですね。

【SL 朝井紀久子】 皆さんと楽しく行けて嬉しかったです。また今回は担当の役割の中で7月下見と8月本番の1ヶ月少々の中に、雪溪から花の移り変わりと、その豊かな表情に感動しました。麓には温泉や宿も豊富で、山は周りに燧ヶ岳や平ヶ岳などの百名山や尾瀬もあり、魅力溢れる山域である事を知り得ました。次の機会があれば、更に細かく花時期を狙ってみたり、麓の一泊も面白そうです。